

教員の教育・研究活動報告			
役職／職名	教授	所属	現代国際学部 グローバル共生学科
ふりがな	ほりべ じゅんこ	生年	1972年
学歴	名古屋外国語大学外国語学部英米語学科卒業（1995年） 名古屋外国語大学大学院国際コミュニケーション研究科修了（1999年） モントレー国際大学大学院国際政策学専攻修了（2002年） 大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程 単位取得退学（2011年）		
学位	学士（文学）〔名古屋外国語大学〕（1995年） 修士（国際文化）〔名古屋外国語大学〕（1999年） 修士（国際政策）〔モントレー国際大学〕（2002年）		
研究分野	軍縮、不拡散、核セキュリティ		
研究テーマ	核軍縮の進め方 核不拡散レジームの強化 核セキュリティ・グローバルレジームの強化		

主な研究業績

著書

題名	単・共	発行日	発行所名	備考
2025年度版 ひろしまレポート：核軍縮・核不拡散・核セキュリティを巡る2024年の動向	共	2025年4月	へいわ創造機構ひろしま（HOPe）	第3章核セキュリティを共同執筆
2025 Edition Hiroshima Report: Evaluation of Achievement in Nuclear Disarmament, Non-Proliferation and Nuclear Security in 2024	共	2025年4月	Hiroshima Organization for Global Peace（HOPe）	Chapter 3 Nuclear Securityを共同執筆
日本軍縮学会編 軍縮問題入門第5版	共	2025年2月	東信堂	第4章地域の核軍縮・不拡散第5節中東
核なき時代をデザインするー国際政治・核不拡散・国際法から見た現実的プロセス	共	2024年12月	早稲田大学出版部	第2章4節
2024年度版 ひろしまレポート：核軍縮・核不拡散・核セキュリティを巡る2023年の動向	共	2024年4月	へいわ創造機構ひろしま（HOPe）	第3章核セキュリティを担当
2024 Edition Hiroshima Report: Evaluation of Achievement in Nuclear Disarmament, Non-Proliferation and Nuclear Security in 2023	共	2024年4月	Hiroshima Organization for Global Peace（HOPe）	Chapter 3 Nuclear Securityを担当
核兵器問題の主な論点整理：国際政治・安全保障編 改訂版	共	2023年6月	長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）	「北朝鮮の核・ミサイル」「ビジネス」への対応」、「中東での非核兵器・非大量破壊兵器（WMD）地帯構想」、「原発の新増設がないなかで原子力人材を如何に確保していくべきか」、「原子力の平和的利用は核不拡散を損なうか」を執筆。
NPTハンドブック	共	2023年3月	公益財団法人日本国際問題研究所	「第25章核セキュリティ」及び「第26章原子力施設に対する武力攻撃」を執筆
2023年度版 ひろしまレポート：核軍縮・核不拡散・核セキュリティを巡る2022年の動向	共	2023年3月	へいわ創造機構ひろしま（HOPe）	第3章核セキュリティを担当
2023 Edition Hiroshima Report: Evaluation of Achievement in Nuclear Disarmament, Non-Proliferation and Nuclear Security in 2022	共	2023年3月	Hiroshima Organization for Global Peace（HOPe）	Chapter 3 Nuclear Securityを担当
2022年度版 ひろしまレポート：核軍縮・核不拡散・核セキュリティを巡る2021年の動向	共	2022年3月	へいわ創造機構ひろしま（HOPe）	第3章核セキュリティを担当
2022 Edition Hiroshima Report: Evaluation of Achievement in Nuclear Disarmament, Non-Proliferation and Nuclear Security in 2021	共	2022年3月	Hiroshima Organization for Global Peace（HOPe）	Chapter 3 Nuclear Securityを担当
2021年度版 ひろしまレポート：核軍縮・核不拡散・核セキュリティを巡る2020年の動向	共	2021年3月	広島県	第3章核セキュリティを担当
2021 Edition Hiroshima Report: Evaluation of Achievement in Nuclear Disarmament, Non-Proliferation and Nuclear Security in 2020	共	2021年3月	Hiroshima Prefecture	Chapter 3 Nuclear Securityを担当
日本軍縮学会編 軍縮辞典	共	2015年9月	信山社	
「中東の核問題と核不拡散体制ーイランおよびイスラエルの核問題を中心として」『核軍縮不拡散の法と政治』	共	2008年3月	信山社	
（翻訳）グレアム・アリソン著「核デロ：今ここにある恐怖のシナリオ」	共	2006年4月	日本経済新聞社	

学術論文

題名	単・共	発行・発表日	発行雑誌又は発行学会等の名称	備考
原子力施設攻撃禁止に関する多国間条約交渉ージュネーブ軍縮会議における試みと頓挫からの教訓ー	単	2023年2月	名古屋外国語大学論集第12号	
「核の巻き返し（Nuclear Rollback）」決定の要因分析：南アフリカを事例として	単	2006年9月	国際公共政策研究	

学会発表等

題名	単・共	発行・発表日	発行学会等の名称	備考
「核セキュリティ動向と規範形成」	単	2022年12月	科研費トークショッ『革新炉開発を語る』	
“Countering Chemical and Biological Threat in the Asia Pacific”	単	2006年3月	The 3rd Meeting of the Council on Security and Cooperation in Asia Pacific Study Group on Countering the Proliferation of Weapons of Mass Destruction in the Asia Pacific,” Singapore.	

主な教育上の業績

大学教育の改善に関する活動

活動事項	年月	備考
キャリア教育開発委員	2017年～現在	
世界共生学部英語教育委員会委員	2017年～2021年	
改革総合支援チーム員	2023年～現在	
世界教養プログラム部会員	2017年～2019年	

作成した教科書

教科書名（対象講義名）	単・共	年月	備考
世界教養72のレシビ	共	2018	名古屋外国語大学出版会

主な職務上の業績

資格・免許

資格・免許の名称	取得年月	発行者・登録番号	備考
高等学校教諭第一種免許（英語）	1994	岐阜県教育委員会	
中学校教諭第一種免許（英語）	1994	岐阜県教育委員会	

社会的活動等

活動事項	期間（年月）	活動機関名
「ひろしまレポート」研究委員	2020年～2026年	日本国際問題研究所軍縮・科学技術センター
「ひろしまジュニア国際フォーラム」ファシリテーター	2022年～2025年	広島県

所属学会

所属学会名称

所属学会名称
日本軍縮学会

主な職歴

期間（年月）	事項	備考
1995年4月～1997年3月	民間企業	
1999年4月～2000年5月	名古屋外国語大学	
2001年6月～2001年8月	国際連合ニューヨーク本部軍縮部 リサーチ・インターン	
2002年5月～2003年4月	モントレー不拡散研究所 研究助手	
2003年5月～2006年5月	財団法人日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター 研究員	
2006年6月～2009年5月	在ジュネーブ軍縮会議日本政府代表部 専門調査員	
2009年6月～2010年3月	外務省	
2010年9月～2014年3月	国際原子力機関（IAEA）	
2014年4月～2017年3月	原子力規制庁	
2017年4月～2025年3月	名古屋外国語大学世界共生学部世界共生学科 准教授	
2025年4月～	名古屋外国語大学現代国際学部グローバル共生学科 教授	

科学研究費等外部資金採択実績

名称	題名	機関名（採択時）	年度	備考
科学研究費 基盤B	安全保障を損なわない核軍縮：効率的アプローチによる政策課題群の学際的分析と提言	名古屋外国語大学	2021～2023年度	研究分担者

主な担当科目と授業の改善と工夫

主な担当科目名 対象学部・学科

担当科目名	対象学部・学科
多国間外交と平和	世界共生学部、外国語学部、現代国際学部、世界教養学部
国連の理念と活動	世界共生学部、外国語学部、現代国際学部、世界教養学部
平和構築・紛争予防	世界共生学部、外国語学部、現代国際学部、世界教養学部
世界共生ゼミナール I～IV	世界共生学部・世界共生学科
Critical Reading for Global Governance A/B	世界共生学部・世界共生学科
アカデミック・スキルズ	現代国際学部・グローバル共生学科
国際力/バランス概論	現代国際学部・グローバル共生学科

授業の改善と工夫

改善と工夫内容
リアクションペーパーのコメントを踏まえ授業改善に役立てるとともに、授業において実際のな事例を多く取り上げることで、世界の諸問題を自分事として具体的に考える機会を提供するよう工夫している。